

教育方法13 いま授業で何が問われているか

第一部

今日の教育危機をめぐる教授学的課題

I 「荒れる」学校状況と克服の視点

一 「荒れる学校状況」のとらえ方

山田 正敏

二 自主的活動を育てる実際的指導の構築を

桑原 昭徳

三 カウンセリングによる「共感」的關係の創造

増田 寛

II 戦後教育実践と子ども観

一 戦後教育実践史における子ども観の変遷【その1】

大西 忠治

二 戦後教育実践史における子ども観の変遷【その2】

藤原 幸男

三 戦後教育実践史における子ども観の変遷【その3】

碓井 岑夫

III 授業における子ども・生活・科学

一 社会科における科学と主体形成

安井 俊夫

二 「対象をみる」力を育てる社会科の授業

若狭 蔵之助

三 自らの生き方の耕す社会科の授業

長岡 文雄

IV 道徳教育の現状と課題 —いま、なぜ道徳教育なのか—

一 現代の危機と道徳教育

春田 正治

二 どんな道徳教育が必要なのか

上田 薫

三 海外における道徳教育の動向と日本における道徳教育の課題

藤田 昌士

四 自己規制スタイルの体系的発達を

扇谷 尚

第二部

日本教育方法学会第十九回大会成果

I シンポジウム＝「荒れる」学校状況とその克服の視点

II 課題研究

III 自由研究